

登録コード	J6110300	開講年度	2026					
授業科目	農学概論					担当教員	安江 恒	
英文授業名	Environment Agriculture					副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・4時限		対象学年	(20カリ対象科目)法：3年
講義室	共通教育12講義室		授業区分	講義	遠隔授業科目			
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】			
	経法20加・総合法律							
	環境問題や、企業や行政の組織内において、日々生起する諸問題について、理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち、総合的に解決していくことのできる能力を身につける。				環境問題や、企業や行政の組織内において、日々生起する諸問題について、理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち、総合的に解決していくことのできる能力を身につける。 現代社会における環境と人との共生について、様々な視点から捉え、視点の違いから派生する課題を抽出するために必要とされる基礎的知識を得ることができる。			
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	森林，田園，社会を含む山岳圏における自然と人間との共生を考える上での基礎的な視点及び手法を学ぶ。							
(5)授業計画	1．城田：環境共生の時代における生物多様性とネイチャーポジティブ 2．城田：森林生態 3．大窪：緑地と生物多様性 4．大窪：緑地生態の保全と回復 5．大窪：緑地生態の管理 6．三木：林業，林産業の現状 7．三木：環境共生にむけた森林政策 8．守口：森林経営とサーキュラーエコノミー 9．安江：樹木の形成と機能 10.安江：木材利用の社会的役割 11.山田：森林構成要素および林産物としてのきのこ 12.堤：気候変動と災害 13.堤：災害の防止対策 14.内川：農山村の人々の暮らしと環境 15.内川：持続的な農山村のための整備と計画技術、アンケート							
(6)成績評価の方法	小テストおよびレポートにより評価します。 小テストは，原則，各回の終わりに理解度等を確認することを目的として行われます。 レポートの課題は，單元ごとに適宜提示します。提出はファイルのeALPSへのアップロードで行います。							
(7)成績評価の基準	秀 授業の達成目標水準から見て卓越している 90点以上 優 授業の達成目標水準よりかなり上にある 80-89点 良 授業の達成目標水準よりやや上にある 70-79点 可 授業の達成目標水準にある 60-69点 不可 授業の達成目標水準にない 59点以下							
(8)事前事後学習の内容	1単位当たり、45時間から授業時間を引いた時間量の自主学習時間が課せられています。担当教員の指示を参考にして自主学習を計画的に行って下さい。また，必要に応じてeALPSに掲載される動画や資料を復習に役立ててください。また，自主的に森林科学に関する情報の収集と理解に努めてください。							
(9)履修上の注意	本講義は，農学部と合同で開講されます。なお，経法学部受講者総数が13名を上回る場合，抽選による受講制限を行います。							
(10)質問,相談への対応	各回の担当教員が講義終了後、あるいはメールにより受け付けます。							
【教科書】	特にありません。							
【参考書】	必要に応じ，授業において参考書等を紹介します。							